

企画競争実施結果

経済産業省経済産業政策局新規事業創造推進室

事業名：令和5年度ユニコーン創出支援事業（シリコンバレー拠点の整備・運営）

（採択事業者）

事業者名	法人番号	提案価格
森ビル株式会社	1010401029669	1,000,000,000

（提案事業者名）

- ①Digital Garage US, Inc
- ②森ビル株式会社

（審査委員属性）

- 大学教授
- 大学教授
- 独立行政法人職員

（採点結果）

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
XXXX	107	125	140	372
森ビル株式会社	152	162	134	448

提案事業者名	提案書の記載内容	事業の実施方法、実施スケジュールが現実的か。	実施方法等について成果を高めるための効果的な工夫が見られるか。	事業の関連分野に関する知見を有しているか。	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか。	コストパフォーマンスが優れているか。また、適正な積算が行われているか。	ワーク・ライフ・バランス等推進企業であるか。	合計
XXXX	適	44	30	240	38	20	0	372
森ビル株式会社	適	57	33	288	40	21	9	448

（評価コメント）

提案事業者名	コメント
XXXX	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点となる施設はサンフランシスコの中心部にあり、公共交通機関の利便性があるほか、短期利用者にも使いやすいと思われる。 ・入居スタートアップについてアクセラレータプログラムを利用して審査・選定するなどの工夫が評価できる。利用期間のバリエーションは面白いが、最大本事業終了までとなると少し長すぎるのではないか。 ・申請者が運営している施設の利用実績・稼働状況がどの程度出ているのかははっきりしない。募集・採択されるスタートアップ企業にとっても、申請者が既存事業で運営している施設を国費で活用することに違和感を抱く可能性がある。申請者の既存事業との整理が必要。 ・申請者が投資業務を行っており、本事業を行う上での利益相反等の確認が強く求められる。 ・AI・デジタルやフィンテック、ブロックチェーンといった分野における知見・エキスパティーズはあるものの、日本の強みとして打ち出すべきディープテック全般について知見があるかは懸念。 ・シリコンバレーのネットワークへの浸透が当該施設の課題と思われる。今後の活躍に期待。
森ビル株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年11月にバロアルト市に設置されたスタートアップ支援拠点「Japan Innovation Campus」をそのまま活用して本事業を推進することができる。 ・同施設を中心として構築された現地のベンチャーキャピタルや学術機関、行政機関との協力関係・ネットワークを活用することで、本事業において整備・運営する拠点の価値を最大限に高めることができる。また、アジアや欧州などがシリコンバレーに設置している類似施設とのネットワークも魅力的。 ・自社事業として国内で展開されている「Tokyo Venture Capital Hub」や「ARCH」と、本事業で整備・運営する施設との相乗効果が見込まれるほか、それらの取組を通じて得られた、スタートアップ支援施設の整備・運営に関する知見や経験、スタートアップ支援機関を含めた人的なネットワークが本事業に総動員されることが期待される。 ・今年度の取組を踏まえた、本事業の運営に関する不断の改善・見直しが期待される。現地での生活支援等についてはもう少し具体性を持たせたほうがよい。